

「Gift デザインする気持ち」はデザイナーの考え方を知ること、多様な視点で物事を考える力を身につけることが目的のワークブックです。このガイドブックでは、各STEPごとの学びの狙いや、進行の仕方をご説明します。

始める前の準備

参加者…2人以上の偶数人（4人1チームが理想）

使う物…ワークブック、プレゼントカード、筆記用具、時計

STEP 1

プレゼントをもらった気持ち (所要時間 約10分)

プレゼントを貰った経験を通して、
渡す側 (= デザイナー) の思考に気づく。

①「思い出す」「描く」のウォーミングアップ。

(本文)
自分がもらったプレゼントを思い出せる限り描いてみましょう。

【上手に進めるためのヒント】
印象に残ってるものがすぐに出ない場合は、前の誕生日は？などイベントを思い出してみるのも良いでしょう。
プレゼントはモノだけではなく、サプライズなどの体験も含まれます。

②気持ちが動いたとき、何がポイントだったのかを探る。

(本文)
描き出した中で、一番印象に残っているプレゼントを選びましょう。そのプレゼントをもらったとき、どんな気持ちになりましたか？なぜその気持ちになったかを思い出して、具体的に描いてみましょう。描き終わったら、周りの人とそのときの気持ちを話し合ってみましょう。

【上手に進めるためのヒント】
気持ちを思い出しづらい場合、本人以外が質問してあげることが大切です。「なぜ？」を何度も繰り返すことで考えを掘り下げることができます。うれしかっただけではなく、びっくりした、よくわからなかった、困ったなどの戸惑いの感情も大切です。その場合も、なぜそう思ったかの理由をしっかりと掘り下げていきましょう。

気持ちの理由、
「〇〇だったから」が
大切なポイントです。



STEP 2

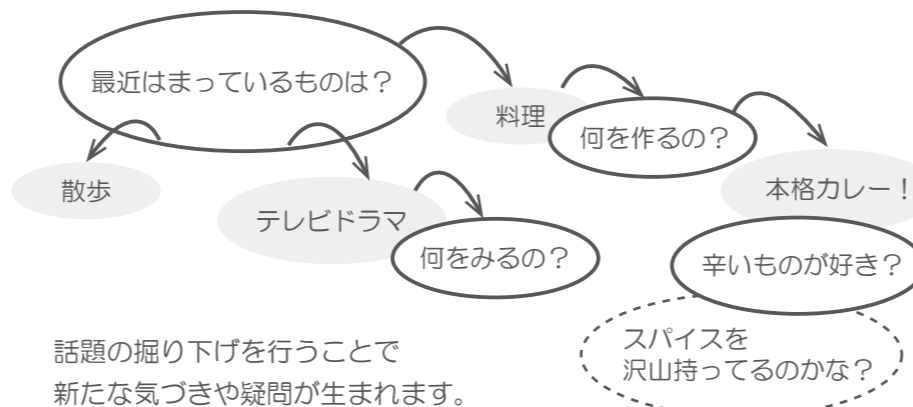
相手へのプレゼント (所要時間 約20分)

調査、観察、考察を経て、
アイデアの「理由」をしっかりと考えて伝える。

①アイデアに繋がる情報を上手く引き出す。

(本文)
最初に2人組を作ってください。次に下のヒントを参考に、交代で相手の人へたくさん質問してください。聞いたことは白い雲の中に描きこみます。質問しながらどんなプレゼントが喜ばれるか考えてみましょう。

【上手に進めるためのヒント】
質問は、沢山の種類を聞くというよりは、一つの質問から発展させるように会話を続けることを重視しましょう。
相手が詳しく話してくれた事について掘り下げると良い提案に繋がります。その場で思いついたアイデアを軽く提案して反応を探るのも良いでしょう。



②情報の点と点を結び、相手の要望を汲んだ提案をする。

(本文)
質問したことを振り返って、プレゼントのアイデアを考えましょう。プレゼントはお店に売ってないオリジナルのプレゼントにしてください。アイデアが思い浮かんだら下のプレゼントボックスの中に描きましょ。お互い描き終わったら相手に見せて感想を話し合しましょう。

【上手に進めるためのヒント】
考えるものはお店に無いオリジナルのプレゼントなので、具体的な商品名や値段などの実現性は考えないようにしましょう。
集めた情報の中で、共通のワードや何度も出たワードにヒントがあります。「〇〇するため」などの大きな目的を決めてから詳細を考えていきましょう。

STEP 3

プレゼントのある暮らし (所要時間 約30分)

問題を意識する。仮説を発信する。対話の中で発想する。
一連のプロセスで、思考力を磨く。

①自分の経験からデザインの課題を見つける。

(本文)
下の絵はあなたの暮らしている街です。生活の場面でどんな困ったことが起こるか書き出してみましょう。

【上手に進めるためのヒント】
自分が困った経験だけでなく、誰かが困っているところを見た、なども課題のヒントに繋がります。
ワークブックにある場面だけでは思いつかない場合、「夜」「雨の日」などの要素を足してみると良いでしょう。

②自分の課題を伝える、皆で考える。

(本文)
困ったことをチームの中で順番に紹介してください。そして、解決するためのアイデアを皆で考えて「プレゼントカード」の中に描いて贈り合ひましょう。見たことのない新しいアイデアを考えてみましょう。

【上手に進めるためのヒント】
困ったことは、共感してもらえるように具体的に話すことが大切です。聞く側は、人が困ったと感じた点について否定しないようにしましょう。他人の気持ちや視点を知る、気づくことがデザインの第一歩です。積極的に話し合いながら、楽しいアイデアを考えていきましょう。



「ありえない」と切り捨てる前に、
「それがあるとこんな良い事がある！」
と、積極的に発信することが大切です。

道が狭くて
車に当たりそう

困ったこと